

本当に後悔しませんか!?

旧ヤナゲン本店が
マンションに!!

税金73億円の無駄遣いのマンション建設による再開発

マンション建設による再開発は時代遅れの手法!

現在、個人10名、法人6社で「大垣駅南前地区市街地再開発準備組合」が約120戸が入る17階建ての高層マンションを建設する再開発事業を計画しています。第一街区は住宅マンション、店舗、(食品スーパー)、事務所等、西側の第二街区は駐車場、第三街区は6階建ての福祉施設を整備する予定です。総事業費は約150億円です。そのうち税金73億円(国と県からの補助金43億円弱、大垣市の補助金30億円)です。令和8年度解体着工、令和11年度完工予定です。大垣市は令和7年度予定の、建築設計、地盤調査、権利変換計画の作成ほか3億1,200万円の予算を計上しています。しかし、今の計画では資金不足に陥り、大垣市は2階3階のフロアを買い取り、大垣市の施設を入れるのではないかと推測されています。もう一度考え直しませんか!?

マンション建設のために
大垣市民一人当たり
約4万5千円の税金を
負担することになるんやよ。

私の
提案

現在の旧ヤナゲン本店の建物は平成元年に建て直してあり、耐震は大丈夫です。また、構造はRCではなく鉄骨作りなので、改造は可能です。市民のための図書館や児童館や大学のサテライト教室に「居抜き」で格安に改造できます。宮崎県の都城市は中心市街地にあった撤退した百貨店(ショッピングモール)を「居抜き」で図書館にリノベーションし、子育て世代をはじめ若い人など多世帯が集う施設になっています。今こそ、1階は生鮮食品のスーパーマーケットに2,3,4階には世代別児童館、5,6階は図書館、7階は学生の自習室・市民活動センターや大学のサテライト教室に、8階屋上は子どもの遊び場にリノベーションしてはどうでしょうか?大垣共立銀行はそのまま旧ヤナゲン本店建物と第二街区の駐車場を利用します。はるかに安い費用でできます。図書館や児童館は「普遍的集客装置」です。



赤鉛筆『雨垂れ石を穿つ』

「どんなに微力だろうと、それを諦めず継続していけば、いつの日にか努力が実ること」

4月の市長選挙では力及ばずご支援にお応えすることができず、申し訳ありませんでした。市長選挙では、私の30年余りの政治活動の中で、現在の大垣市の課題と展望を訴えることができ、多くの方のご支援・ご賛同を賜り、とても充実した時を過ごすことができました。

しかし、現市長の大型プロジェクトが目白押しのビジョンは、首をかしげざるを得ません。旧ヤナゲン本店のマンション建設に73億円の税金の投入や、大垣西IC付近の「道の駅」建設に数十億円。更に大垣城ホールの建設に現在の大垣城ホールの東側の土地買収を入れて約70億円が見込まれます。このような大型プロジェクトの推進より、人口減少時代の今こそ、福祉や子育てに予算を重点的につけるべきです。微力ではありますが、今後も私は市民の幸せのために提言を続けて参ります。



ご参加ください あなたも地方議員になりませんか!?

市政・町政の勉強会

◆市政・町政の財政
◆子育て ◆福祉
◆まちづくり
◆都市計画 など
毎月テーマを変えて開催!

日時/7月21日(日) 10:00~12:00

講義・質問・ディスカッション etc.

場所/オカサンホテル 1F 西事務所 大垣市旭町1-5

会費/500円(飲み物・資料代)

テーマ/
都市計画について